

だいにこく通信 第二十一号「春の号」

ひょうりつ

日頃より当神社での神明奉仕にご協力を賜り、ありがとうございます。

この冬は、雪国は大変な量の雪に見舞われたときいております。都心でも寒さは厳しく、改めて自然の厳しさを痛感いたしました。

社報「だいにこく通信」の第二十一号をお届けいたします。

今回の内容は催し物のご案内、神社にまつわる豆知識をお伝えする「お宮あれこれ」、そして、オリジナル・キャラクターが活躍する連載まんがなどです。

本年もなにとぞよろしくご指導ご鞭撻のほどお願い申し上げます。

大國神社 宮司 大島資生



大國神社の今

(1)「第四回だいにこく落語会」を開催します

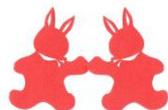
昨年五月に引き続き、古今亭菊乃丞師匠をお迎えして第四回だいにこく落語会を開催することとなりました。今回も、江戸情緒あふれる巧みな話芸をお楽しみいただければ幸いです。

お席に限りがございます。参加をご希望のかたはどうぞお早目にご予約ください。(詳細は次ページ)



〔催事詳細〕
第四回だいきく落語会

古今亭菊之丞落語会



日時 五月十六日(土) 午後六時(午後五時半開場)

会場
ご
申し訳ありません

満席となりました

でございます。
ていただき
し、定員に
そご承く

古今亭菊之丞プロフィール

昭和四十七年十月生まれ 平成三年 古今亭圓菊に入門、平成六年二
ツ目昇進、平成十五年 真打昇進。平成十年 北とびあ若手落語家競演
会北とびあ大賞、平成十三年 市川市民文化賞奨励賞、平成十四年 N
HK 新人演芸大賞落語部門大賞、平成二十年、二十一年、二十三年国
立演芸場花形演芸会金賞。平成二十四年度芸術選奨文部科学大臣賞新
人賞、落語協会所属。希望郷いわて文化大使。CD「古今亭菊之丞名
演集1〜5」、DVD「古今亭菊之丞落語集 明烏／二番煎じ」「古今
亭菊之丞 落語集 景清／酢豆腐」ほか多数。著書『こういう見』
(WAVE出版)

(2) 催し予告

五月の落語会のほかにも、今年はいくつかの催しを予定して
おります。

六月二十七日(土)「予定」小島ゆかり先生講演会
十月 四日(日)第二回だいきくライブ

小林久美さん(東京都交響楽団)
ヴァイオリン・リサイタル

いずれも場所は当神社社殿です。詳細が決まり次第、改めてご
案内いたします。どうぞご期待ください。

お宮あれこれ 柏手(かしわで)

神社でお参りをする際、ご神前で手を打つことを「柏手(か
しわで)」と言います。なぜこのように言うのでしょうか。今
回は「柏手」についてお話しいたしましょう。



「柏手」ということばの語源は諸説あるようですが、もともと「拍手」といつていたものが、「拍」と「柏」という漢字がよく似ているために混乱が生じたという説もあります。また、「膳部（かしわで）」ということばに影響されたのではないかとされます。「膳部」とは何でしょうか。これは「かしわでべ」とも呼ばれ、奈良時代に宮中で調理をつかさどった人のことで、厚みのある柏の葉（上段写真）を食器として用いたところからこの名前がついたそうです。

神社での祭式でも、神様にお供えする神饌を準備する神職は、同じ漢字を用いて「膳部（ぜんぶ）」と呼ばれます。

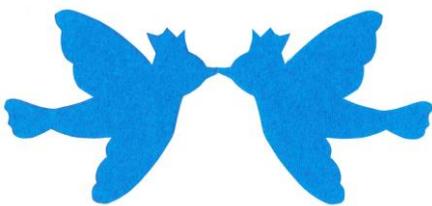
そもそも「カシワ」という樹木の名前の由来そのものに調理が関わっているようです。「柏」という名前は「炊葉（かしわ）」からきてい

るとされています。古代、米や麦を煮たり蒸したりして飯にする、つまり飯を炊くことを「かしぐ」と言いました。このことばが木の名前のもとになっているという事です。柏の葉を食器として用いることは、端午の節句に食べる「柏餅」



（下段写真上）にその名残が見られます。飛騨高山の郷土料理で朴（ほお）の葉の上に味噌や野菜などをのせて焼く「朴葉（ほおば）味噌」（下段写真下）が有名ですが、これも古い習慣を残しているものといえましょう。

ご神前でお参りする際、まずはお供え物をした上で願い事を告げる、古代の人々はそういう作法を「柏手」ということばに込めたのかもしれない。



祭礼・祈祷などの案内

○次回甲子祭

平成二十七年四月十八日(土) 午前五時～正午

○開運千人講祈祷祭 毎月一日 午前六時～正午まで

○お祓いのお申し込み・お問い合わせなどは下記の電話番号にお願いいたします。不在の場合は、恐れ入りますが、留守番電話のメッセージのあとで、お名前・お電話番号・ご用件をお話してください。のちほどこちらからご連絡いたします。

○諸祈祷受付 商売繁盛祈願、心願成就祈願、厄除け、お宮参りなど、随時祈祷を行っております。祈祷日時については、お電話にてご相談ください。

(連載まんが)

大吉うさぎ ～神社豆知識②～

くま こまち 作



〈お問い合わせ・お申し込み〉

○三三三九一八一七九三〇(携帯) ○八〇一八九八七七八一六

eメール daikokujinja@gmail.com

次号発行予定

「だいきく通信第二十一号」、いかがでしたか。次号「夏の号」は、平成二十七年六月十七日の甲子祭に発行予定です。

「だいきく通信」第二十一号 平成二十七年二月十七日発行
編集・発行 大國神社社務所

〒一七〇一〇〇〇三 東京都豊島区駒込三二二一十一

<http://www.daikokujinja.org>